

特別講演会

地球温暖化と世界のCCSの現況 及び 苫小牧におけるCCS実証試験について

日時 | 2016年12月13日(火)
16:30~18:00

会場 | 北海道大学・工学部
A棟A101会議室

苫小牧CCS実証試験設備



講師



日本CCS調査株式会社

常務取締役 プラント本部長

澤田 嘉弘 氏

【澤田嘉弘(さわだ よしひろ)氏 プロフィール】

1977年 ニューヨーク大学大学院土工学専門課程修了
東京大学大学院工学部土工学専門課程修了

1977年 新日本製鐵(株)入社、数々の国内外の海洋開発・建設プロジェクトに従事。

2007年 日本大陸棚調査(株)社長

2015年 現職

技術士(総合技術監理部門)、技術士(建設部門-建設環境)、技術士(建設部門-鋼構造及びコンクリート)、技術士(建設部門-施工計画・施工設備及び積算)

CCS(Carbon dioxide Capture and Storage 二酸化炭素の回収、貯留)は、工場や発電所などで発生する二酸化炭素を大気に放散せずに回収し、地中貯留に適した地層に圧入して、長期間にわたり安定的に貯留する技術です。国際エネルギー機関(IEA)による、2100年における世界平均気温の上昇を産業革命より2℃未満とするシナリオでは、2050年に二酸化炭素排出量を現在より半減する必要がある、CCSにより減少量の14%にあたる約55億トンの削減が期待されています。

主催 | 北海道大学大学院工学研究院 環境循環システム部門

共催 | 資源・素材学会 北海道支部

お問い合わせ | 北海道大学 環境循環システム部門(足立) TEL 011-706-6305